



ロータリー:
変化をもたらす

2017~2018 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 水野 賢一

幹 事 鈴木 信男

副会長 高木 久子



会長指針:

一人はみんなの為に

RI 会長テーマ

．．． 例 会 記 録 ．．．

7月第4週例会 2017年 7月27日(木)

ソング : 奉仕の理想

お客様紹介 : 元会員 金野 孝 様

本日出席率 : 69.81% 前回修正後75.47% (メキップ7名) (報告者 鈴木 秀樹 会員)

★ 会長の時間 水野賢一会長



今日は夜例会を増やし会員同士の懇親を深めながら出席率上も上げようとの狙いで夜例会と致しました。なお前年度の総会も有るので、総会と懇親会はセットだろうと企画しました、夜例会については、これからも皆さんの意見を伺いながら月一回開会の予定で行って行きたいと考えております。

最近の大船渡地区の野球は大活躍ですね、スポ少野球猪川野球クラブの全国大会出場、そして東高校野球部の夏の県大会予選ベスト4進出の大活躍でした。

私は普段野球は見ないのですが今回は東高校の試合は見ていました、選手の出身校が赤崎と末崎が多かった様に思いました、この選手達の中に当西クラブが震災後に支援し末崎町に作った復興グラウンドで練習をした選手も居るんだろうと思うとより一層に親しみも強くグラウンドを作って本当に良かったと思ひながら応援することが出来ました。

これからも地域の為、そして力になれる様な奉仕活動ができるクラブで有りたいと思います。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 社会福祉法人 成仁会より 夏まつり開催の案内と協力依頼が届いています。

日 時 8月11日(金) 17時30分~19時30分雨天決行

場 所 成仁ハウス百年の里 玄関広場前

※ 15時30分より 屋台のお手伝いをお願いしたいとのこと。

- 2 MOA 美術館気仙地区児童作品展実行委員会より 作品展への協賛と後援のお願いが届いています。

作品展示日程 10月7日~9日 場所 大船渡市民体育館

後援内容 名義使用 賞状への公印使用 表彰式への参加

- 3 ロータリー囲碁同好会より 第16回全国囲碁大会の案内が届いています。

日 時 10月14日(土) 10時点鐘・開会~16時

場 所 東京市ヶ谷 日本棋院本院 登録料 7,000円 締切り 10月6日

- 4 大船渡ロータリークラブより 公式訪問打ち合わせ会の案内が届いています。

日 時 8月9日(水) 15時~

場 所 大船渡夢商店街

★ 木下クラブ奉仕委員長

来週8月3日の例会は7日(月)の盛町七夕まつり見学例会となります。

会場は、当初門田会員駐車場としておりましたが、雨天時のことを考え元会員の鈴木章二会員宅で行います。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

総会 : 前年度決算承認



前年度の藤原会長司会の下、前年度会計新沼福三会員より一般会計・ニコニコボックス会計の収支決算・残金処分案について報告があり、その後山口会計監査より監査

報告を頂き、満場拍手をもって決算承認となりました。

◆◆◆ 懇 親 会 ◆◆◆



池田会員のカンパ〜イで
懇親会開会



前年度100%出席者へ記念品贈呈



金野元会員を囲んで



★ 金野孝元会員



西ロータリーの皆さん「こんばんわ」ご無沙汰しております。皆さんの多くの笑顔にたくさんの元気を頂いております。

今夜はこの一年間私が経験し感じたことが少しでも皆さんのお役に立つのではと勝手に思いやってきました。しばらくの間お付き合いお願いいたします。

あさひ
“朝 陽光に輝く長安寺 遠くなく 近くなく”

(この句には表と裏があり 裏は自分の心境です。)

散歩がてらに見回す工事中の我が家の川側の景色は、北に長安寺の山門・本堂の屋根・赤橋。南にトンネル・開発鉄道・岩に松と林・盛川に竿を垂れるアユ釣りの人の姿・早朝より鶯と小鳥の鳴く声・蝉時雨・・・と最高の景色と環境があります。

私は昨年8月2日大腸がんの手術を受け、肝臓への転移と「ステージIV」と告知されました。今も気持ちは一緒ですが、その時「そうなんだ！」という事だけで、なぜか気持ちは冷静でした。術後、自分には痛いところ痒いところもなく元気でしたが、素直に治療を続けていました。

抗がん剤治療は10か月続きました。最初の6か月は、2週間に一度。これにより、食欲不振、脱毛、色素沈着、体力も衰えます。薬を変えても効果が表れず、今度は手足のしびれ、麻痺・・・このように抗がん剤治療は患者にとって良いことはなく体力を消耗し、自信も失われます。

医大に入院し、退院となった7月9日。家族と一緒に現在の病状と今後の治療説明を受ける。副作用の強いしびれの残る中、再び飲み薬抗がん剤を勧められるが拒否「今後は薬による治療をやめ、自分の治癒力に頼って流れに任せてやっていく」と宣言。大船渡病院の緩和医療センター長村上医師への紹介状を頂き退院。

翌日、村上医師を訪問。村上医師は大変すばらしく、これまでとは違い、患者に向き合った治療をして頂けると確信。1時間の面談で「私は、薬も止め、自分の治癒力と魂に頼ってやっていく」と話すと、それがベスト、医学的にもよいと言っただけで自信倍増。村上医師にお会いできたことに感謝。

不思議なもので、自分が魂でこう思っただけで身体にエネルギーがみなぎり、オーラを感じることもできるようになっています。いつまでこの身体がもつか、光が見えるのか自分を信じて気力だけは負けずにいる昨今です。この気のステージは格別です。今まで感じ得たことのない毎日が充実し楽しいのです。

「天は自ら助くる者を助く」です。

これまで担っていた猪川保育園の理事・12年務めた猪川公益会の会計・森林組合の理事等9件の地域の役職もここ1か月ですべてお断りし解放された今、こだわりなく、何の不安もなく伸び伸びやれて・・・この感覚が素晴らしいと感じています。

今年から中学校で、来年からは小学校でもガンについて学習するそうです。

さて、私がガンについて学んだこととお話しします。

医師にガンと告知されてもあわてず、簡単に抗がん剤治療を受け入れないでほしいです。医師は、モニターからのデータだけで「ガンが進行する恐れがあるので早く抗がん剤治療を」と言ってきます。病院と医師の言うことだけが全てではないのです。そこは冷静に、自身の病状とそれに対応する情報を多く集め、治療法などの検討が必要と思います。

簡単に人は死にません。私は「ガンは生活習慣病」だと思っています。色々なところに様々な情報があります。「どんなガンでも自分で治せる」そんな本さえあります。

「副作用こそ死に近づけます！」自分の意志と力で相応の治癒力が発揮できるのです。

魂でやりきると決めてかかると、完治も夢ではなさそうとさえ感じるのです。

問題は、自分の意志力・魂の力です。

